

- 問1 1873年に明治政府が実施した地租改正において、税の算定基準と納入方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------------|----------------------|
| 1. 土地の面積を基準とし、米で納める | 2. 毎年の収穫高を基準とし、貨幣で納める | 3. 土地の価格である地価を基準とし、貨幣で納める | 4. 毎年の収穫高を基準とし、米で納める |
|---------------------|-----------------------|---------------------------|----------------------|
-
- 問2 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものととして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。 | 2. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。 | 3. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。 | 4. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。 |
|--|--|---|--|
-
- 問3 幕末から明治維新にかけての内戦である戊辰戦争の終結までの過程について、正しく説明したものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 江戸城の無血開城が行われた直後に、すべての旧幕府勢力が武装解除を受け入れたため、北海道での戦闘は起こらなかった。 | 2. 新政府による廃藩置県に反対する土族たちが、鹿児島県から北上して函館まで攻め込んだことで、最大規模の内戦となった。 | 3. 外国勢力の干渉を恐れた徳川慶喜が、函館に新しい政権を樹立して独立を宣言したことが、戊辰戦争の直接的な原因となった。 | 4. 旧幕府軍の残党が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して降伏し、内戦が終了した。 |
|---|---|--|--|
-
- 問4 明治初期の政治改革において、旧藩主から土地と人民を天皇に返還させた「版籍奉還」が行われた目的と、その後の1885年に伊藤博文が初代内閣総理大臣に就任した出来事の説明として、正しい組み合わせはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設 | 2. 藩を廃止して県を置くための一時的な改革 — 自由民権運動を抑えるための内閣制度の創設 | 3. 武士の特権を廃止して平等な社会を作るための改革 — 議会政治を開始するための大日本帝国憲法の発布 | 4. 土地の所有権を認めて税制を安定させるための改革 — 外国との不平等条約を改正するための内閣制度の創設 |
|--|---|---|---|
-
- 問5 明治政府は、欧米の進んだ技術や学問を導入して日本の近代化を急ぐため、国家予算の多くを割いて高い給与で外国人を招きました。近代産業の育成や教育、文化の発展に大きく貢献したこれらの人々の総称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|--------|--------|
| 1. 渡来人 | 2. お雇い外国人 | 3. 遣隋使 | 4. 南蛮人 |
|--------|-----------|--------|--------|
-
- 問6 1873年に始まった地租改正の内容について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 課税の基準を土地の面積と収穫量である「石高」とし、その3%を米などの収穫物で納めさせた。 | 2. 課税の基準を土地の面積と収穫量である「石高」とし、その3%を現金で納めさせた。 | 3. 課税の基準を土地の価格である「地価」とし、その3%を米などの収穫物で納めさせた。 | 4. 課税の基準を土地の価格である「地価」とし、その3%を現金で納めさせた。 |
|---|--|---|--|
-
- 問7 明治政府の基本政策である「富国強兵」を実現するため、近代的な軍力を整える目的で1873年に発令され、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を選択せよ。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|--------|---------|
| 1. 学制 | 2. 廃藩置県 | 3. 徴兵令 | 4. 地租改正 |
|-------|---------|--------|---------|
-
- 問8 津田梅子ら女子留学生が同行した岩倉使節団の派遣について、その目的や背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大正デモクラシーの風潮の中で、普通選挙法の制定に向けた欧米の選挙制度を調査すること | 2. 鎖国体制を維持するために、外国船を撃退するための軍事技術を秘密裏に導入すること | 3. 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約を締結し、領土問題を解決すること | 4. 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること |
|--|--|--|--|
-
- 問9 明治政府が建設した官営工場のうち、1872年に群馬県に設立され、フランスの技術や機械を導入して日本の生糸の品質向上と輸出拡大を支える模範となった施設として正しいものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|----------|----------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 足尾銅山 | 3. 富岡製糸場 | 4. 長崎造船所 |
|----------|---------|----------|----------|
-
- 問10 幕末から明治維新への推移において、1860年の「桜田門外の変」から1868年の「江戸城明け渡し」までの間に起こった出来事について、その発生した順序が正しいものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 王政復古の号令 → 大政奉還 → 鳥羽・伏見の戦い | 2. 大政奉還 → 王政復古の号令 → 鳥羽・伏見の戦い | 3. 鳥羽・伏見の戦い → 大政奉還 → 王政復古の号令 | 4. 大政奉還 → 鳥羽・伏見の戦い → 王政復古の号令 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
-
- 問11 1869年に実施された「版籍奉還」から、1871年の「廃藩置県」へと改革が進められた主な理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 王政復古の号令によって江戸幕府の力が完全に消滅し、諸藩の軍勢力を統合する必要がなくなったから。 | 2. 欧米列強との条約改正を有利に進めるために、地方自治の独立性を高めることが求められたから。 | 3. 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。 | 4. 地租改正によって土地の所有権が確定したことで、藩という仕組みを残す必要がなくなったから。 |
|--|---|---|---|
-
- 問12 明治政府が行った諸改革のうち、国民に「教育」「納税」と並ぶ義務を課した「徴兵令」の内容として正しい説明を選んでください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 四民平等の考えに基づき、士族だけでなく農民なども含む満20歳以上の男子を対象とした。 | 2. 一定の納税額があることを条件として、満25歳以上の男子に兵役と選挙権を同時に与えた。 | 3. 義務教育の普及を目的とした学制と同時に導入され、小学校を卒業した男子にのみ課された。 | 4. 地方自治の強化を目指し、各府県の判断で兵役の対象者を選出できる仕組みとした。 |
|---|---|---|---|
-
- 問13 明治政府が1873年に「徴兵令」を発布した背景と、その制度の仕組みについて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 富国強兵の一環として、都市部の労働力不足を解消するために若者を強制的に工場で働かせる制度を整えた。 | 2. 四民平等の思想に基づき、満20歳以上の男子に兵役の義務を課すことで、武士に代わる近代的な軍隊を組織しようとした。 | 3. 旧来の武士の特権を維持するため、士族の男子のみを対象として最新の西洋式武器を扱う訓練を義務づけた。 | 4. 外国からの開国要求を退けるため、農民に対して一時的に武装を許可し、沿岸部の警備を強化することを目的とした。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 土地の価格である地価を基準とし、貨幣で納める	明治政府は近代的な国家運営を行うための財源を確保しようとしてしました。それまでの江戸時代のような、作柄によって収める量が増える収穫高基準の物納（米）を改め、土地の所有者に地券を発行した上で、地価を基準に一定の税率を貨幣で納めさせる仕組みを整えました。
問2	答え 2 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。	地租改正の大きな目的は、国家予算を安定させることでした。基準を「地価」という固定的な値にし、納税を「現金」としたことで、農作物の価格変動や収穫量の増減に政府の収入が左右されなくなり、近代国家としての計画的な財政運営が可能になりました。なお、小作人への土地の売り渡しは第二次世界大戦後の農地改革の説明であり、地租改正の内容とは異なります。
問3	答え 4 旧幕府軍の残党が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して降伏し、内戦が終了した。	戊辰戦争は、新政府軍が旧幕府勢力を掃討する過程で北へと拡大しました。江戸城が無血開城された後も、東北地方の諸藩や旧幕府の家臣たちは抵抗を続け、最終的に榎本武揚らが北海道の函館（五稜郭）を占拠して戦いましたが、1869年に降伏したことで一連の内戦に終止符が打たれました。
問4	答え 1 天皇中心の中央集権体制を強めるための改革 — 近代的な行政の仕組みを整えるための内閣制度の創設	1869年の版籍奉還は、土地と人民を朝廷に返すことで中央集権体制を確立する狙いがありました。一方、1885年の内閣制度の創設は、憲法の公布や国会の開設に備えて、効率的な行政運営を行うために整えられた仕組みです。初代内閣総理大臣には、のちに憲法制定の中心人物となる伊藤博文が就任しました。地租改正（土地の所有権と税制）や廃藩置県（藩の廃止）とは区別して理解する必要があります。
問5	答え 2 お雇い外国人	明治政府は「富国強兵」や「殖産興業」をスローガンに掲げ、急速な近代化を図るために欧米から優れた技術者や学者を招きました。彼らは官営模範工場の運営指導、鉄道建設、大学での教育、さらには法令の整備など、多岐にわたる分野で指導的な役割を果たし、日本の発展の基礎を築きました。
問6	答え 4 課税の基準を土地の価格である「地価」とし、その3%を現金で納めさせた。	地租改正では、従来の「石高（収穫量）」ではなく、土地そのものの価値を示す「地価」が課税の基準となりました。税率は当初、地価の3%（のちに反対一揆を受けて2.5%に減税）と定められ、納入方法も米などの現物ではなく、すべて現金で行うことが義務付けられました。
問7	答え 3 徴兵令	富国強兵のうち「強兵」を実現するためには、それまでの武士による軍隊ではなく、国民全体から兵士を集める近代的な軍制が必要でした。そこで政府は、教育制度を整える「学制」の翌年にこの法令を出し、国民皆兵の基盤を作りました。
問8	答え 4 不平等条約の改正に向けた予備交渉とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること	岩倉使節団は、岩倉具視を全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文といった政府の有力者が参加した大規模な使節団でした。最大の目的は江戸時代に結ばれた不平等条約の改正交渉でしたが、当時の日本にはまだ近代的な法整備が整っていなかったため交渉は難航しました。一方で、欧米の政治、産業、教育などを直接視察したことは、その後の日本の近代化（文明開化）に極めて大きな影響を与えました。
問9	答え 3 富岡製糸場	明治政府は当時の主要な輸出製品であった生糸の増産と品質改善を急いでいました。フランスから技師を招き、大型の機械を導入したこの製糸場には全国から女性たちが集まり、ここで学んだ近代的な製糸技術が各地の工場へと広まっていきました。
問10	答え 2 大政奉還 → 王政復古の重大令 → 鳥羽・伏見の戦い	1867年10月に徳川慶喜が「大政奉還」を行い、同年12月に倒幕派主導の「王政復古の重大令」が出されました。これによって地位を脅かされた旧幕府側と新政府側の対立が深まり、翌1868年1月に「鳥羽・伏見の戦い」が勃発して戊辰戦争へと繋がっていきます。
問11	答え 3 版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き領地を治めていたため、政府による直接的な全国支配が不十分だったから。	版籍奉還は土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させるものでしたが、旧藩主が「知藩事」に任命されたため、実質的な統治構造は以前の藩体制と大きく変わりませんでした。政府が全国を一元的に支配し、近代化を加速させるためには、藩そのものを廃止して中央から官吏を派遣する「廃藩置県」が必要不可欠であったという背景があります。
問12	答え 1 四民平等の考えに基づき、士族だけでなく農民なども含む満20歳以上の男子を対象とした。	徴兵令は、江戸時代までの「軍事は武士が担う」という特権を廃止し、国民全体で軍隊を組織する「国民皆兵」を目指したものです。これは、身分の平等をうたった「四民平等」の考えを軍事面で実現しようとしたものでしたが、農村部では貴重な労働力を奪われるとして反対一揆が起こることもありました。
問13	答え 2 四民平等の思想に基づき、満20歳以上の男子に兵役の義務を課すことで、武士に代わる近代的な軍隊を組織しようとした。	それまでの日本は、武士という特定の身分だけが軍事を担う社会でしたが、明治政府は「国民皆兵」をスローガンに掲げ、身分に関わらずすべての国民が国防を担う仕組みを作ろうとしました。これにより、封建的な身分制度を打破し、中央集権的な国家体制を強化する狙いがありました。しかし、労働力を奪われる農民からは強い反発が起こり、血税一揆と呼ばれる暴動も発生しました。